

# 美術科 山場を中心とした授業指導案

指導者；藤本 喜久

- 日 時 ; 平成29年9月26日(火)
- 場所・生徒数；美術室・2年A組35名(男17人, 女18人)
- 単元名 ; 遠近感を表す
- 本時の目標 ; 一点透視図法・二点透視図法を使って遠近感を表現することができる

導 入	正立方体の実物を提示し、遠近感(奥行き感)がでるように描いてみる。 ・隣近所で描いたものを見せ合い、奥行き感のある表現をするにはどうすればいいのかを考える。
--------	---

めあて；遠近感を表現しよう

展 開 I	・技術科の製図ですでにやっている「キャビネット図法」「等角図法」との違い。 ・一点透視図法(水平線、消失点)を板書し、奥行き感が人間の見た目に近い(遠近感が感じられる表現である)ことを確認する。 ・見下げた場合、見上げた場合、消失点より右にある場合、等を描く。
-------------	--



次は、二点透視図法で描いてみよう。・・・消失点が2つ、とはどうすればいいのだろう？  
なるほど。奥行きを表す線を2つの消失点に向かって引けばいいのか！

展 開 II	・二点透視図法を板書する。 ・見下げた場合、見上げた場合、右(左)寄りの位置、等を描く。
--------------	---

ふ り 返 り	・線遠近法(一点透視図法・二点透視図法)を用いることで、近くのものとの遠くのものとの間にある距離感や空間を表すことができること。 ・実際の作例から、遠近法が使われていることを理解する。 ・その他の遠近法(三点透視図法・空気遠近法・色彩遠近法)も紹介する。
------------------	---